

農業の

農 民 自 助 協 同 会 の 國 家 の 任 務

(一) 内務省社会局
一、不況に悩む農村
獨り、我が國の農村ばかりでなく、世界の農村はすべて不況に悩んでゐる、それは何故であるか、凶作による窮乏でないことは云ふまでもない、農産物それ自体から見ればあり余る程出来てゐる、我が國では米も小麦も生産の過多によつて困つてゐる、世界的に云へば、小麦も綿花もゴム、砂糖、コーヒー等莫大のストックを抱いて苦しんでゐる、農産物そのものは、一般的に近時生産技術の改良(作物、家畜の品種改良、化学肥料の施用、病虫害の防除、能率高き農具の使用等々)により、假令局部的な天然の災害による不作を免かれぬにせよ全体としては著しき生産能力の増大を結果してゐるのである、たゞその技術の改良の進展の速度と強度とは夫々國により、地方により或は農村各部門により異なるだけである、

さうすれば、別にそのよつて来る原因を求めなければならぬ、農産物は既に久しい間農民の自家消費のために生産せられず、一般市場に向つて販賣することを目的として生産されてゐる、比較的自給的色彩の強い我が國の農業で、その生産物の平均六割は販賣されるし、アメリカ合衆國の農業者に於ては農場生産物の八割乃至九割は商品として販賣せられると云ふ、即ち今日

の農家の經濟は昔のやうな自給自足の強い經濟でない、多分に流通經濟の中に足をふみ込んでゐる、農家經濟の根本は經濟活動によつて出来るだけ充分に家族員の欲望の満足が得られるやうに應酬することであるが第一次的には農産物を賣つて受取る貨幣收入を最大にしなくてはならぬ譯である、

パラソルと日傘

例年御定評を頂く當店特選の

優秀な新柄を豊富に取り揃へて ツルヤ

お醤油は

醤油味贈
たひら正宗
鯉節食料品

山崎合名會社
ヤマフル

明治生命磐城代理店

山崎與三郎

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平町南町 電話二五八番

磐城名産特賣所
御土産物には郷
石城みやげ
七濱の生産品
地元産の果實
平みやげ
名菓各種
土の名産が第一
前驛町平

産科 長木村寅次郎
婦人科 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 立蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町南町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久 忠

新時 附屬專業に等外看護婦部を特
代の 設いたし皆様の御用向へ身元
要求 確實なる婦人を派出致します
平町南町 電話三〇七
平看護婦會
會長 清野キヨ
御手不足の御家庭輕
い御病人の付添妊婦
産婦の御家庭

高橋屋
食品店
平町南町

入院 應需
明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番
安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正一
平町二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木 正 男
平町南町(電話五八番)山女學校前
入院應需 **鈴木醫院**

新設、電話二二二番
何卒御利用の程を
平町紺屋町一一
上原家政婦會
(産婆) 上原通子

(磐城共濟病院) 福島縣平町四六一
院長 醫學士 石山 謙 郎
内科 醫學士 賀一 忠
小兒科 醫學士 五十嵐 雄 二
産婦人科 醫學士 坂本 眞 一 郎
外科 醫學士 本 眞 一 郎
皮膚泌尿科 醫學士 前 山 謙 郎
器病科花柳病科 醫學士 石 山 謙 郎
X線科 醫學士 石 山 謙 郎
衛生試驗所 醫學士 高 橋 利 雄
藥局 藥劑師 吉 本 孝 平
事務局長 鈴木 寶 雄
(毎日午前八時より午後十時迄診療)
病室完備 入院隨意

マクネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
マクネトロンは極めて簡単な治療器を着衣の上から施すもので簡便であります
「治療代」は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します
嘘か實か百聞一見御試し下さい
治療所 日中は 城山藥園(電話一〇九)
日没後は 一丁目自宅(電話四七〇)
治療士 飯田近治